

今村復興大臣記者会見録

(平成28年11月23日(水) 15:30～15:37 於) 岩手県盛岡市)

1. 発言要旨

今日は仙台の宮城復興局に、そして、ここ岩手復興局におきまして、22日以来の地震の対応について状況の確認をしてまいりました。しっかり状況を把握して、そして余震がまたあるかもしれないし、今後の対応についても十分気を配ってくれということで指示をしてきました。

今日はその後、紫波町オガールプロジェクトを見させていただきまして、その後、赤武酒造(株)を視察してきたところでもあります。

オガール紫波については、新しい拠点づくりといたしますか、非常に参考になる点が多かったように思います。全国からいろいろな視察の方がお見えになっているといたしますが、さもありなんということで、これからの地方都市のコンパクトシティという構想もあります。そういったところで人ができるだけ集まって来やすく、そして、自分たちのふるさとをしっかりと盛り上げていくという、そういった意味で大変ふわさしいものだなというふうに思っているところです。

それから、赤武酒造(株)は、大槌で被災され、何とか昔から引き継いだ伝統を守ろうということで、盛岡の地で新しく立ち上げられたわけですがけれども、特に印象的なのは、24歳の息子さんが中心になって、若い人達が中心となっておいしい酒をつくっておられるということについて大変嬉しく思いました。そしてまた、新しいセンスを生かして販売の方もかなり順調なようでありまして、大変嬉しく思いました。今後とも、しっかり支援をしていきたいというふうに思っております。以上です。

2. 質疑応答

(問) 宮城の復興局の方では、具体的にどういうやり取りがあって、それについての御所感を教えていただけますか。

(答) 被害の状況確認と、まず発生時の対応状況ですね。スタッフの皆さんもどんどんやっておられて、きちんと対応してもらいましたし、それから、もう一つは何と言いますか、津波注意報が警報になった、その辺の対応なりにこれからは気を付けなきゃいけないなど。気象庁の予報は予報として、やはりそれ以上のものが来る可能性もあるということが今回はっきり分かったので、そういったところをもう少し皆さんに周知してもらおう必要があるんじゃないかなというふうに思ったところでもあります。

(問) このたび行かれましたオガール紫波ですけれども、岩手県は被災県ではありますけれども、内陸と沿岸だと隔たりもある。例えば岩手県全体として、内陸が伸びていくことで沿岸も牽引するというようなお考えでいらっしゃいますか。

(答) いや、そうではなくて、三陸の方も是非拠点をつくってやっていていただきたいなと思っています。今日、現に、宮城県女川町の職員の皆さん方が、町長さんもお見えになって研修をやっていましたから。三陸の町でも、参考にしながらしっかりやってもらいたいなと思います。また、それは十分できると思います。

(問) 町づくりを御参考にされるという。

(答) そうですね。はい。

(問) 昨日の地震についてお伺いしたいんですけれども、昨日、岩手県内では4万3,000人ほどに対して避難勧告、注意報が出たということですが、実際に逃げた方が1,000人から2,000人ぐらいということで、一部には、教訓として、逃げるのが生かされていないんじゃないかというような点もあるんですけれども、その点については、大臣はどのようにお考えでしょうか。

(答) 私も同感です。ですから、気象庁の情報が絶対的なものではないということ、やっぱり皆さんにも分かっておいてもらわんといけないのではないかと、というのをさっきも言ったつもりでした。このぐらいだから大丈夫じゃないかな、というような、ついつい、何と言うか、気の緩みと言ったら失礼かもしれませんが、そういうこともあって、ああいう結果になったと思います。

結果としては、そんなに大きな被害はなかったものの、仙台の方には、まさかと思ってあつという間に津波が来たし、それで1メートル40cmという、相当なものでしょう。

だから、気象庁の警報もあくまで参考ということ、やっぱりもっと大きなのが来るかもしれないというようなことを、もう少し言ってもらわないといけないのかもしれないですね。

(問) 気象庁の予想以上の津波が来たという話につながるかもしれないんですけれども、ほかにも車で避難するときに、車は渋滞になってなかなか前に進めなかったり、いろいろな課題が見つかったと思うんですけれども、大臣が考える今回の地震での課題というのは、ほかにもどんなことがありましたか。

(答) どういう状況だったか、よく把握してということ、さきほど言ったとおりですが、その車の渋滞もやはり、ところによっては起きているようなんです。しかし、皮肉な話だけれども、皆さんそんなに逃げられなかったということだから、このくらいで済んだのかなと思いますよ。もう少し、みんながこれは大変だといって逃げ出したときに、果たしてどういう状況になっていたかという

ことは、もう一回やっぱりシミュレーションした方がいいんじゃないかなという気もします。現に少し一部の箇所ではそういう混雑も起きているような話も聞きましたからね。

(以 上)